

野洲市長 山仲 善彰 様



平成28年 7月20日

(仮称)野洲市民病院整備基本設計業務委託に係る
公募型プロポーザル審査委員会
委員長 及川 清昭

最優秀者提案の設計に移行するに際しての要請事項

今回の基本設計者選定にあたっては、(仮称)野洲市民病院整備基本設計業務委託公募型プロポーザル実施要領及び(仮称)野洲市民病院整備基本設計業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会設置要綱に基づいた(仮称)野洲市民病院基本設計業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会(以下「審査委員会」という。)が設置され、公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公告等が平成28年5月13日付けで公告されました。

参加企業は、平成28年5月27日に4者を受付け、同年6月10日一次審査、7月11日に本審査委員会による二次審査の公開ヒアリングを行い、最優秀者及び優秀者を特定しました。

この審査において、各審査員から、最優秀者の提案を基本設計実施案に移行する場合において、留意・再考すべき事項が述べられたことから、本審査委員会では、これら事項を、基本設計契約に際して要請すべき事項として取りまとめました。つきましては、設計仕様書に反映されるようお願いいたします。

記

要請事項

(1) 全体計画

①設計の進め方について

本プロポーザルは、設計案の選択でなく設計者を選択する趣旨であることから、設計契約後の設計作業においては、設計提案図面の高評価部分を生かしつつも、審査講評内容、本要請事項および、市、病院職員の要望を受け入れた設計を行うこと。

②工事費の上限

想定工事費 54 億円(以下「工事費」という。)には本体工事のほか、外構、厨房機器、電話設備等を含むことを認識し、予定額を越えない設計内容とすること。

(2) 配置計画

①野洲駅南口周辺整備構想との整合

本事業と併行して進められている野洲駅南口周辺整備構想との関係性を重視し、同構想実施主体者との意見交換及び協議を通じ、同構想と基本設計案の整合を図ること。

②野洲駅南口側からのアプローチの容易性の確保

野洲駅南口改札階レベル(2階)からのアクセス通路は、病院開院時には完成せず、将来計画であることから、野洲駅南口改札方面、バス・ロータリー方面からの来院者アプローチについて、高齢者にとって障害にならない方法で、病院受付、外来診療階(2階)へ容易にアクセスできる方法を講じること。

(3) 平面計画

- ①ヘルスケアパークの吹き抜け部を設けることにより、外来診療部門における診療ブース、処置室及び患者待合スペースなど必要となる諸室面積等に影響がないように、適正なスペースの確保とヘルスケアパーク部分のバランスを考慮し平面プランを工夫すること。
- ②4階、5階の病棟（一般病棟と回復期病棟の設置階）の入れ替えについて比較検討資料を作成の上、病院の意見を踏まえ再検討すること。
- ③病棟計画において、S.S.前の重症患者収容エリアの管理区画を工夫すること。
- ④病棟階の寝台用エレベータ前のエリアの管理区画などについて、病院スタッフと患者など病院利用者との動線が交錯しないよう工夫すること。
- ⑤仕上げ材などは、地元産材の利用を検討すること。
- ⑥屋上緑化については、維持費用及び維持管理方法を考慮した内容とすること。

(4) 構造計画

工事費の範囲内で、免震構造の採用を検討すること。

(5) 機械設備計画

機械室レスの採用に当たり、機器の耐久性、維持費、更新時の課題が生じないように設計すること。

(6) 電気設備計画

- ①電気室を屋上に配置するのに当たり、機器の耐久性、維持費、更新時の課題が生じないように設計すること。
- ②災害時における発電機稼働の時間設定については、十分検討し、地域災害拠点病院クラスの備蓄料とすること。

以上

○委員構成

委員長	及川 清昭	立命館大学 理工学部 建築都市デザイン学科 教授
委員	白井 宏昌	滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科 准教授
委員	今中 雄一	京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野 教授
委員	福山 秀直	京都大学 学際融合教育研究推進センター 健康長寿社会の総合医療開発ユニット 特任教授
委員	岡田 裕作	特定医療法人社団御上会 野洲病院 院長
委員	大藤 良昭	野洲市 政策調整部 政策監
委員	小山 日出夫	野洲市 都市建設部 部長
委員	瀬川 俊英	野洲市 健康福祉部 部長